

長坂ふれあいの
まちづくり協議会
&
神戸学院大学
ボランティア
活動支援室

発行

地域と大学をつなぐ防災情報誌

いっせいのせ

VOL.16

2025
spring

この人に会いたい！

profile

学校現場において先生方と協働して発達障害などの多様な子どもたちへの支援を行ってきた。また、家庭内療育や教育相談等も多く担当し、保護者への支援も行っている。今後も、専門家の立場から学校現場に多く貢献したいと考えている。

神戸学院大学 心理学部教授

道城 裕貴 さん

08

今号は、神戸学院大学心理学部教授で公認心理師の道城裕貴先生にお話を伺いました。

道城先生が心理系の職業を志されたきっかけは、中学2年生の時に出会った『自閉症だったわたしへ』（ドナ・ウィリアムズ／著、河野万里子／訳、新潮文庫）という1冊の本です。その後、大学、大学院で心理学を専攻し、公認心理師の資格を取得されました。現在は主に神戸市・明石市を中心に発達障害がある子供の療育や学校の先生方に向けたコンサルテーションを行っておられます。

現在の子育てについて、SNSで流れる情報等から「子育ては大変」というイメージが付きやすく、不安感や孤独感を抱える親が増加しているのではないかと考えておられます。だからこそ孤立することなく地域の方々からのサポートを受けることが重要であるとおっしゃっていました。

神戸学院大学心理学部は、国家資格である公認心理師を目指すカリキュラムが整備されており、多様な心理学やその応用分野を幅広く学ぶことができます。本学には子育てサロン「まなびー」があり、子育て中の保護者を支援するとともに、子どもたちが自由に遊べる場を提供しております。サロンは公認心理師を目指す心理学部の3年生が学内実習で活用する場でもあり、

特別プログラムとして学生が心理学の観点から子どもたちの様子を観察・学習することができます。道城先生は、この実習の担当者として、学生への指導とサポートを行っています。

防災活動にも注力！

日常的にお子さんと避難経路を確認したり、防災バッグを用意したり。バッグに呼子笛を携帯するなど、いつでも助けを求められるよう備えもされています。また保育園や学校などで防災教育が強化されているという現状にも強い関心を寄せておられます。

（学生記者：心理学部2年 林 里嬢）

PICKUP BOOK

『自閉症だったわたしへ』
（ドナ・ウィリアムズ／著
河野万里子／訳、新潮文庫）

自閉症（現在は自閉症スペクトラム障害）の当事者であるドナ・ウィリアムズが、豊かな心の世界を著したもので、障害というものを中から見る大切さについて教えてくれた一冊です。



キラキラ笑顔を取り戻せ！ 長坂小学校わくわくフェスタ に参加しました！

2024年12月7日(土)に神戸市立長坂小学校で、長坂小学校の児童を対象に「わくわくフェスタ」が開催されました。このイベントは長坂小学校施設開放運営委員会によって企画されました。当日は、小学生140名、保護者約30名が参加し、さまざまなブースが設置されていました。神戸学院大学ボランティア活動支援室学生スタッフ子ども班7名が参加し、スタッフ15名で運営されました。

多彩なブース、小学生の元気な声がこだまする

イベントは午前10時にスタートしました。前半はアイロンビーズ工作、フラワーアレンジメント、くるみボタンでの髪留め工作、プラバンキーホルダー工作、豆つかみゲーム、コイン落としの6つのブースが設置されていました。子どもたちは行きたいブースを自由に遊んでいました。



後半はビンゴゲーム大会。ティッシュケースや巾着袋、くるみボタンやアイロンビーズで作ったキーホルダー、プラスチック容器で作ったロボットの人形などたくさんの景品が用意されていました。なんと用意されていた景品はすべて手作り！子どもたちは元気よく「ビンゴ！」と言って好きな景品を選んでいました。

学スタ子ども班は、「コイン落としブース」を担当しました。また人手が足りていないところのヘルプに入りました。普段の活動よりも小学生の人数が多かったため、対応に迷ったこともありましたが、一人一人臨機応変に行動することができていました。



運営者の思い、学生の学び

「コロナ禍でこのようなお楽しみ行事が中断してしまっ。その間も、子どもたちのために何かをしたいという思いがあった。そして、ようやく開催に至りました」と世話役をされている長坂小学校施設開放運営委員会の宮本ノブコさん。そして行事の開催について、「みんなルールをしっかりと守ってくれて良かったです。反省もありますが、いちばんは子どもたちが楽しく安全に活動できることです。怪我もなく、楽しそうな子どもたちの様子が見られて安心しました。大学生ボランティアのみなさんも、積極的に子どもたちと触れ合ってくれて助かりました」と続けられました。

また、運営委員会からもう一方、四宮孝子さん。小学生とかかわるポイントとして「飽きさせないことが大事。何もしていない間があると気が緩むので、注目させる工夫をすると良いです」とアドバイスをいただきました。最後に、フラワーアレンジメントブースを担当していた大学生の石丸陸さん（薬学部1年）に話を伺いました。「フラワーアレンジメントでは途中で材料がなくなってしまい、用意しているときの子どもたちへの対応が大変でした。子どもたちが混乱しないよう意識しながら対応しました。また、フラワーアレンジメントやビンゴ大会の景品は準備に時間をかけていたので、子どもたちが喜んでい姿が見られてよかったです。これからの活動でも子どもへの対応を意識しながら臨機応変に動けるようにしていきたいです」。



長坂ジュニアチーム 「伊川流域ウォーキング」 開催報告

11月17日、天候が危ぶまれましたが、何とか曇天の下、伊川流域ウォーキングに参加出来ました。歩くにつれて、天気も良くなってきて、野鳥の観察も楽しめました。感染症等の事情で、欠席のメンバーも多く、10人の参加でした。今回はスタッフが少なく、ご家族の応援をお願いしていたところ、お二人のお母さんが参加して下さいました。ありがとうございました。地下鉄伊川谷駅南出口に集合して、前開八幡神社、石戸神社で神社の歴史を勉強しながら、太山寺に向きました。途中、セグロセキレイやノビタキ、モズ等の野鳥も観察しながら歩きました。望遠鏡で綺麗に見える鳥の姿に感動しました。太山寺では、国宝の本堂にお参りし、ボランティアの方から三重塔の説明を受けました。途中暑くなり、やや疲れ気味になっていたメンバーも、太山寺の紅葉に癒されて帰路に着きました。地域の方々とも触れ合えて、とても充実した活動になりました。



今回の活動を通して、小学生と地域とのつながりを強く感じる事ができました。ビンゴ大会の景品がすべて手作りであることなど、このイベントのために手間暇をかけて準備をしていたことが伝わってきました。小学生のキラキラ笑顔のために、多くの地域の方々も懸命にイベントの運営をされている姿がとても印象に残りました。

(学生記者：心理学部2年 萩野 美咲)



長坂地域のみなさま
ほっとかへんネットKOBЕ・西
福祉なんでも
相談員

長坂地域福祉センターで開催されている「ふれあいサロン」会場にて、社会福祉法人の職員がご相談を伺います。
【ほっとかへんネットKOBЕ・西】の名札をかけた職員に是非ご相談ください。

ほっとかへんネットKOBЕ・西
事務局：神戸市西区社会福祉協議会
TEL: 078-940-9501(区役所代表)
FAX: 078-995-5601

ほっとかへんネットKOBЕ・西 伊川谷エリア加盟法人
高齢：神戸福生会、ときわ、菜の花会・障害：社友会
保育：湊山福祉会、勝原福祉会、神戸愛育会
すずらんだい福祉会、真実福祉会、よつば福祉会、和光福祉会

ほっとかへんネットKOBЕ・西 (神戸市西区社会福祉法人連絡協議会)

私たち、ほっとかへんネットKOBЕ・西は、西区内の社会福祉法人が集まり、地域の課題解決のためのお手伝いができるよう活動しています。

長坂地域福祉センターで毎月第1土曜日開催の「ふれあいサロン」にて、参加されている皆様の困りごとをお伺いできるよう、伊川谷エリアの法人職員がお待ちしております。

お気軽に「ほっとかへんネットKOBЕ・西」の名札を付けた職員にお声掛けください！

VR地震体験車
ゆれるん
登場!!

長坂校区 総合防災訓練 開催のお知らせ

今回も神戸市消防音楽隊の演奏をお楽しみ頂きます。

2025年
2月 23日(日)

[時間] 10:00~12:00

※受付は9:30から学校体育館前(避難所)にて

[会場]

神戸市立長坂小学校 体育館
校庭等

※雨天のときは体育館等屋内で行います

阪神大震災から30年の今年、大災害時の住民による避難所開設、運営を想定した防災・避難訓練を行います。また映像と地震の揺れが連動した地震体験車“ゆれるん”(神戸市・2代目)が初登場の予定です。(雨天の場合は中止)

訓練内容

1. 避難・救出訓練 ジャッキアップ救出法、車椅子搬送等
2. 消火訓練 消火器取扱法、放水訓練
3. 神戸市消防局 VR地震体験車「ゆれるん」で地震疑似体験
4. 救急救命訓練 AEDを用いた心肺蘇生訓練等
5. 防災クイズ・パネル展示 被災地での大学ボランティア活動等紹介
6. 炊出し訓練 豚汁炊出しと試食



主催：長坂ふれあいのまちづくり協議会
長坂校区防災福祉コミュニティ

昨年の様子を
HPで確認できます

いっせーのせ!



いっせーのせ
VOL.16

2025年2月1日発行

防災情報誌「いっせーのせ」は長坂ふれあいのまちづくり協議会と神戸学院大学ボランティア活動支援室が年4回発行する情報誌です。学生が記者となり、地域のフレッシュな情報を発信していきます。

Publisher
長坂ふれあいのまちづくり協議会
神戸学院大学ボランティア活動支援室

Contact
神戸学院大学 ボランティア活動支援室
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
TEL: 078-974-1551 (大学代表)
E-mail: kgu-vc@j.kobegakuin.ac.jp